

志賀義雄 （志賀） 政治家、社會運動家。明治二十四年一月八日福岡縣生れ、平成元年二月十六日歿（一九〇一—八九）。筆名松村徹也。第一高等學校を經て、大正十四年東京帝國大學文學部社會學科卒。在學中新人會に参加し學生聯合會を結成。また日本共産黨に入黨して雑誌「マルクス主義」を編輯。昭和二年黨員（齊檢挙）（三・一五事件）に遭ふと、非難の儘十八年間服役。戦後は黨中央委員として徳田球一と共に黨再建の中心となる。（二十一年衆議院議員（當選六回）。二十九年部分の核實驗停止條約批准に賛成投票して黨を除名せられ、所謂ソ連派を結集して日本のことを創設、全國委員長となつた。

著書に「こちほなせまるいかに科學のあたらしの發展のためか」（昭和二十二年九月一日京都・三二書房）、「日本革命運動史の入り口」（昭和二十二年十一月一日曉明社）、「國家論」（昭和二十四年六月二十日ナウカ社「ナウカ講座」）、「戦後日本の危機と財政」（昭和二十四年九月二十日曉明社「曉明文庫」）、「新世界と日本」（昭和二十四年九月二十日曉明社）等。

